

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策		健康づくりの推進		電話番号	087-839-2860
	取組方針		健康増進のための環境整備		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		骨髄等移植ドナー支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	骨髄・末梢血幹細胞提供者の増加、及び骨髄等移植の推進を図ることを目的として、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、ドナー及びドナーが勤務している事業所に対し、骨髄等の提供に要した費用の一部に相当する額を助成する。				
年度概要	ドナー及びドナーが勤務している事業所への助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市骨髄等移植ドナー支援事業助成金交付

【事業の目的】

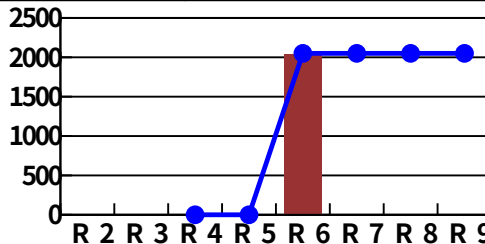
対象（何を）	20歳以上55歳以下の市民
意図（どのような状態にしたいか）	骨髄等を提供する者の増加及び多くの骨髄等移植の実現を図る。

【事業の活動】

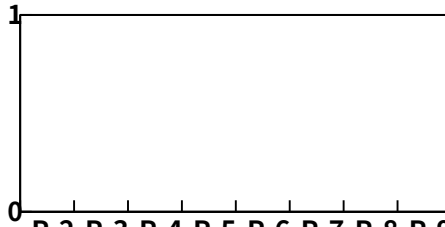
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	ドナーへの助成件数	件	0	0	3	6	6
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)				単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
高松市のドナー登録者数（市と県の人口割合にて算出）				人	目標値	0	0	2,050	2,050	2,050
					実績値	0	0	2,044		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
ポスター展示やリーフレットの配布等を行い、積極的に周知啓発に取り組み、おおむね目標を達した。					(目標達成度)					
					(得点)					
					99.7%		35点			

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)				単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
					目標値					
					実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
					(目標達成度)					
					(得点)					

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	1,048	899	2,566	2,916
	(事業費)	300	146	250	600
	(職員人件費)	748	753	2,316	2,316

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	ドナー及びドナーが勤務している事業所への助成	・ドナーへの助成 200千円 ・ドナーが勤務している 事務所への助成 50千円	総額	250	
			特定財源	国	0
				県	125
				市債	0
				他	0
			一般財源	125	
令和 7 年度	ドナー及びドナーが勤務している事業所への助成	・ドナーへの助成 400千円 ・ドナーが勤務している 事務所への助成 200千円	総額	600	
			特定財源	国	0
				県	300
				市債	0
				他	0
			一般財源	300	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事业
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
ドナーに対する助成件数は2件、事業所に対する助成件数は1件であった。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
今後とも、骨髄バンクドナー登録や骨髄等提供制度の普及啓発に取り組むほか、本市の骨髄等移植ドナーに係る助成制度の周知に努める。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針	地域医療体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	看護師養成所運営補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	医療人材の確保を図るため、看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属准看護学院）の運営費を助成する。				
年度概要	看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属准看護学院）の運営費の一部を助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市補助金等交付規則

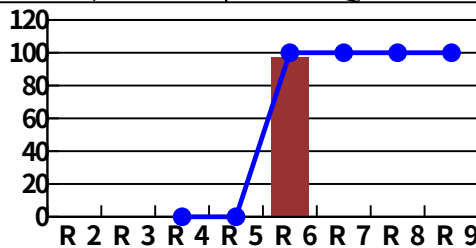
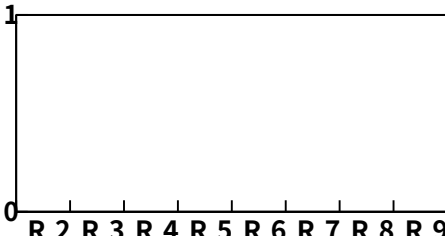
【事業の目的】

対象（何を）	看護師及び准看護師の志望者
意図（どのような状態にしたいか）	看護師等の資格取得を促進し、新たな医療人材の確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 補助対象施設件数		件	0	0	2	2	2
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	養成所卒業生の資格取得率		%	目標値	0	0	100	100	100	
				実績値	0	0	97			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	令和 6 年度において、養成所卒業生のうち看護師等の資格取得率は 97.0% で、目標値はおおむね達成できた。		(目標達成度) 97.0%							
(得点) 34点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	5,052	5,060	5,099	5,099
(事業費)	[千円]	3,555	3,555	3,555	3,555
(職員人件費)	[千円]	1,497	1,505	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属准看護学院）の運営費の一部を助成	高松市医師会看護学校運営事業補助金 2, 5 1 8 千円 木田地区医師会准看護学院運営事業補助金 1, 0 3 7 千円	総額	3,555	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,555	
令和 7 年度	看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属准看護学院）の運営費の一部を助成	高松市医師会看護学校運営事業補助金 2, 5 1 8 千円 木田地区医師会准看護学院運営事業補助金 1, 0 3 7 千円	総額	3,555	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	3,555	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）	
看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属准看護学院）の運営費の一部を助成することにより、看護師等の資格取得を促進した。	

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
今後も更に看護師等を養成し、医療人材の確保に努める。

令和 年度（ 年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策		医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針		地域医療体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		産科医等確保支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	産科医と助産師に分娩手当を支給する医療機関に対して助成を行うことにより、処遇改善を通した産科医等の確保を図る。				
年度概要	医療機関が産科医と助産師に支給する分娩手当に対して助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市産科医等確保支援事業補助金交付要綱

【事業の目的】

対象（何を）	産科医・助産師
意図（どのような状態にしたいか）	産科医や助産師の確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	補助対象施設件数	件	0	0	3	2	2
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	該当施設における産科医及び助産師の従事人数	人	目標値	0	0	46	26	27
			実績値	0	0	40		
成果指標②	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	対象医療機関における産科医及び助産師の確保については目標値 46人に対し実績は 40人で、達成できなかった。	(目標達成度)		87.0%				
		(得点)		30点				
成果指標③	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	助成対象分娩件数	件	目標値	0	0	637	410	435
			実績値	0	0	513		
成果指標④	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	対象医療機関における分娩件数については目標値 637件に対し実績は 513件で、達成できなかった。	(目標達成度)		80.5%				
		(得点)		28点				

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	4,865	4,913	4,656	5,244
(事業費)	[千円]	3,368	3,408	3,112	3,700
(職員人件費)	[千円]	1,497	1,505	1,544	1,544

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	医療機関が産科医と助産師に支給する分娩手当に対して助成	産科医等支援事業補助金 3,112千円	総額	3,112	
			特定財源	国	0
				県	2,334
				市債	0
				他	0
			一般財源	778	
令和 7 年度	医療機関が産科医と助産師に支給する分娩手当に対して助成	産科医等支援事業補助金 3,700千円	総額	3,700	
			特定財源	国	0
				県	2,775
				市債	0
				他	0
			一般財源	925	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	86 / 100 (86%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
医療機関が産科医と助産師に支給する分娩手当に対し助成を行うことにより、処遇改善を通じた産科医等の確保を行った。なお、産科医等の高齢化などにより、人材不足は深刻であり、根本的な人材確保策を講じる必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
引き続き助成を行い、処遇改善を通じた産科医等の確保を図る。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策		医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針		地域医療体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		災害時医療救護事業			

【事業全体概要】

事業概要	災害時の医療救護体制を確保するため、災害時に応急救護所等で使用する医療資機材及び医薬品等を備蓄するとともに、高松市内3医師会連合会及び高松市歯科医師会が自主事業として実施する、災害時医療救護体制の確保を目的とした活動に対して助成する。				
年度概要	・災害時に避難所、応急救護所等で使用する薬品等の備蓄 ・災害時の医療救護体制の確保を目的とした活動を行っている、高松市内3医師会連合会及び高松市歯科医師会に対する助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

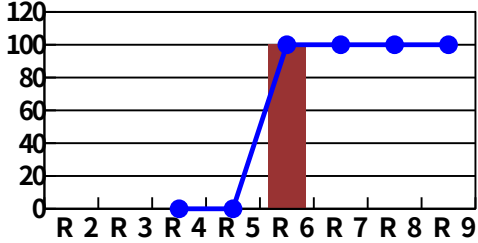
対象（何を）	災害時の医療救護体制
意図（どのような状態にしたいか）	災害時の医療救護体制を確保する。

【事業の活動】

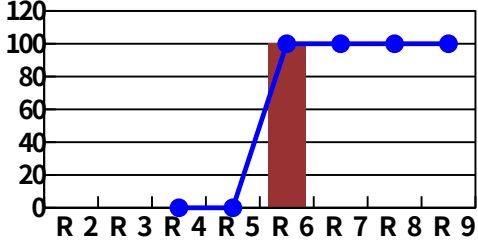
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	医療救護活動助成件数	件	0	0	2	2	2
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
備蓄医薬品のうち有効期限内である医薬品の割合	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
災害時の備蓄医薬品については、計画的に更新を行うことにより、全て有効期限内で適切に管理することができている。		(目標達成度)	100.0%				
		(得点)	35点				

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
医療救護活動の実施率	%	目標値	0	0	100	100	100
		実績値	0	0	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
災害時の医療救護体制の確保に係る活動の実施率については、いずれの助成対象事業者も計画どおり実施することができた。		(目標達成度)	100.0%				
		(得点)	35点				

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針	地域医療体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	医療安全推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	医療における安全や信頼の確保に加え、医療の質の向上を図るため、医療法に基づき、医療安全支援センターを設置し、医療相談の対応や医療安全推進会議を開催するほか、病院、診療所等の医療監視等を実施する。				
年度概要	医療法に基づく医療安全支援センターの運営、医療相談の対応、医療安全推進会議の開催、医療機関への医療監視の実施、医療機関等からの許可申請への対応及び衛生検査所への立ち入り、医療職等の免許交付				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	医療法

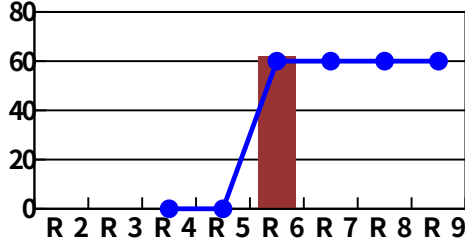
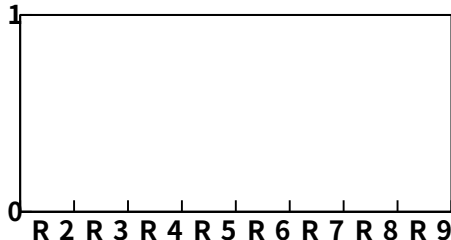
【事業の目的】

対象（何を）	医療を受ける市民、市内の医療機関
意図（どのような状態にしたいか）	市民の医療への安全の意識及び医療への信頼を高める。 医療機関が法令を遵守した良質な医療を提供できるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	医療相談受付件数	件	0	0	212	250	250
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	相談者の納得度「納得した」の割合		%	目標値	0	0	60	60	60	
				実績値	0	0	62			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	医療相談に適切に対応した結果、その対応に納得した相談者の割合は、目標を達成した。		(目標達成度) 103.3%							
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	15,195	22,937	23,580	23,563
	(事業費)	227	356	420	403
	(職員人件費)	14,968	22,581	23,160	23,160

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	医療法に基づく医療安全支援センターの運営、医療相談の対応、医療安全推進会議の開催、医療機関への医療監視の実施、医療機関等からの許可申請への対応及び衛生検査所への立ち入り、医療職等の免許交付	医療安全支援センター運営費 1 7 1 千円 医療監視立入検査事務 4 0 千円 医療職等への免許交付等 2 0 9 千円	総額	420	
			特定財源	国	0
				県	420
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 7 年度	医療法に基づく医療安全支援センターの運営、医療相談の対応、医療安全推進会議の開催、医療機関への医療監視の実施、医療機関等からの許可申請への対応及び衛生検査所への立ち入り、医療職等の免許交付	医療安全支援センター運営費 1 6 3 千円 医療監視立入検査事務 3 2 千円 医療職等への免許交付等 2 0 8 千円	総額	403	
			特定財源	国	0
				県	350
				市債	0
				他	53
			一般財源	0	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

医療相談の相談件数は、令和2年度をピークに以降は減少傾向であるが、今後も、相談者が納得できるよう、医療相談に対応する職員の研修等により、職員の相談スキル向上が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針	救急医療体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	病院群輪番制病院設備整備費補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	二次救急医療体制の充実を図るため、輪番病院が行う施設・設備の整備に対して助成する。				
年度概要	輪番病院が行う施設・設備の整備に対する助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	病院群輪番制病院設備整備費補助金交付要綱

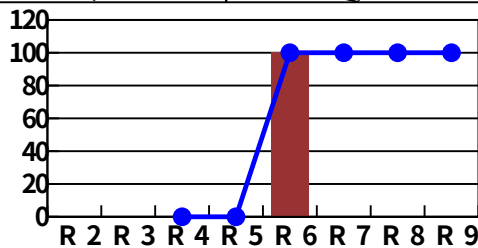
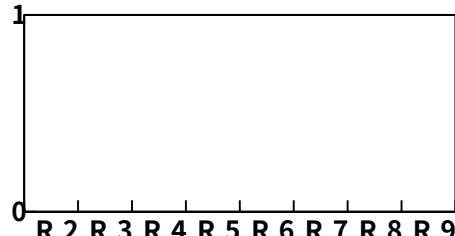
【事業の目的】

対象（何を）	市内の輪番病院（香川県立中央病院を除く 7 病院）
意図（どのような状態にしたいか）	診療に必要な医療機器等の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 補助対象病院件数		件	0	0	1	1	1
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	夜間における輪番病院の開設稼働率		%	目標値	0	0	100	100	100	
				実績値	0	0	100			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	夜間において、輪番病院が開設されたことから、当初の計画どおり目標を達成することができた。		(目標達成度) 100.0%							
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	17,877	7,911	7,871	23,544
	(事業費)	16,380	6,406	6,327	22,000
	(職員人件費)	1,497	1,505	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	輪番病院が行う施設・設備の整備に対する助成	設備整備費補助金 6, 3 2 7 千円	総額	6,327	
			特定財源	国	0
				県	4,218
				市債	0
				他	127
			一般財源	1,982	
令和 7 年度	輪番病院が行う施設・設備の整備に対する助成	設備整備費補助金 2 2, 0 0 0 千円	総額	22,000	
			特定財源	国	0
				県	14,666
				市債	0
				他	438
			一般財源	6,896	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

輪番病院が行う施設・設備整備に対して助成を行うことにより、二次救急医療体制の充実を図った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

今後も、国及び県の補助要綱に基づき、輪番病院が診療に必要とする施設・設備整備に対して助成を行うことにより、二次救急医療体制の充実を図る。

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策		医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針		救急医療体制の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		在宅当番医制等事業			

【事業全体概要】

事業概要	地区医師会（高松市医師会、木田地区医師会、綾歌地区医師会）に委託し、休日（日曜、祝日）に診療を行う医療機関を当番制により確保する。				
年度概要	休日（日曜、祝日）に診療を行う医療機関を当番制により確保する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	休日における急病患者
意図（どのような状態にしたいか）	休日において適切な医療を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	在宅当番医の診療日数	日	0	0	71	71	71
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
休日における休日当番医の開設稼働率	%	目標値	0	0	100	100	100																		
		実績値	0	0	100																				
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				<table><caption>Indicator 1 Achievement Data</caption><thead><tr><th>Quarter</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th></tr></thead><tbody><tr><td>Rate (%)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr></tbody></table>				Quarter	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	Rate (%)	0	0	0	0	100	100	100	100
Quarter	R2	R3	R4					R5	R6	R7	R8	R9													
Rate (%)	0	0	0					0	100	100	100	100													
全ての休日において休日当番医を確保したことから、当初の計画どおり目標を達成することができた。	(目標達成度)	100.0%																							
	(得点)	35点																							

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
		目標値																							
		実績値																							
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				<table><caption>Indicator 2 Achievement Data</caption><thead><tr><th>Quarter</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th><th>R9</th></tr></thead><tbody><tr><td>Rate (%)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				Quarter	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	Rate (%)								
Quarter	R2	R3	R4					R5	R6	R7	R8	R9													
Rate (%)																									
	(目標達成度)																								
	(得点)																								

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	22,556	25,347	25,063	25,791
	(事業費)	21,059	23,842	23,519	24,247
	(職員人件費)	1,497	1,505	1,544	1,544

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	休日（日曜、祝日）に診療を行う医療機関を当番制により確保する。	在宅当番医制事業委託料 11,007千円	総額	23,519	
		在宅当番医制事業負担金 1,127千円	特定財源	国	0
		検診等保健医療事業推進補助金 11,102千円		県	141
		在宅医療連絡協議会事業補助金 283千円		市債	0
				他	1,589
			一般財源	21,789	
令和 7 年度	休日（日曜、祝日）に診療を行う医療機関を当番制により確保する。	在宅当番医制事業委託料 11,007千円	総額	24,247	
		在宅当番医制事業負担金 1,200千円	特定財源	国	0
		検診等保健医療事業推進補助金 11,102千円		県	469
		在宅医療連絡協議会事業補助金 938千円		市債	0
				他	1,589
			一般財源	22,189	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 地区医師会（高松市医師会、木田地区医師会、綾歌地区医師会）に委託し、休日（日曜・祝日）診療を行う医療機関を当番制により確保した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

休日における初期救急医療体制の確保に努めるとともに、休日における安易な受診を抑制するため、かかりつけ医の普及や患者の受診マナーの向上に向けて周知・啓発を図っていく。

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針	救急医療体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	歯科救急医療センター休日・夜間救急歯科診療事業運営補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	歯科診療の救急体制を確保するため、休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して助成する。				
年度概要	休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して、運営費の一部を助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市休日・夜間救急歯科診療事業補助金交

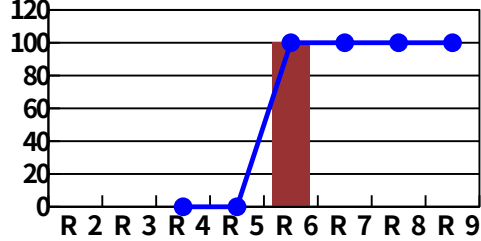
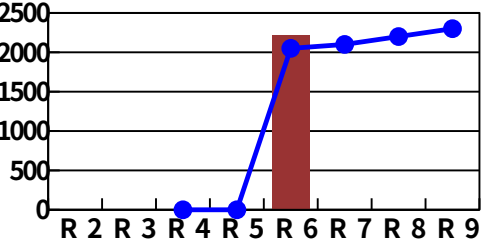
【事業の目的】

対象（何を）	休日・夜間の歯科救急患者
意図（どのような状態にしたいか）	休日・夜間において適切な医療を提供する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 補助対象施設件数		件	0	0	1	1	1
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	休日・夜間における救急歯科診療の開設稼働率	%	目標値	0	0	100	100	100
			実績値	0	0	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	休日・夜間における救急歯科診療の延べ患者数	人	目標値	0	0	2,050	2,100	2,200
			実績値	0	0	2,219		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	夜間・休日における救急歯科診療延べ患者数は、2,219人で目標を達成することができた。（休日歯科診療：1,331人、夜間歯科診療：888人）			(目標達成度)	108.2%			
				(得点)	35点			

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	13,497	13,505	18,144	13,544
	(事業費)	12,000	12,000	16,600	12,000
	(職員人件費)	1,497	1,505	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	・休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して、運営費の一部を助成 ・センターにおける設備（E及び空調）老朽化に伴う設備更新費用の一部を助成	休日・夜間救急歯科診療事業補助金 12,000千円 歯科救急医療センター E及び空調設備更新補助金 4,600千円	総額	16,600	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	3,400
				他	0
			一般財源	13,200	
令和 7 年度	休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して、運営費の一部を助成	休日・夜間救急歯科診療事業補助金 12,000千円	総額	12,000	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,000	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して助成した。 なお、患者数は増加傾向にあるものの、休日当番医ほど認知度が高いとは言えない状況であることから、今後、更なる周知・啓発を行う必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
今後も、休日・夜間における歯科救急医療体制の確保を図るため、歯科医師会の運営費の一部を助成するとともに、市民の認知度が高まるよう同事業に対する周知・啓発を図っていく。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針	救急医療体制の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	病院群輪番制運営補助事業			

【事業全体概要】

事業概要	夜間における重症患者の受入体制を確保するため、輪番病院の運営・調整に係る費用に対して助成を行う。				
年度概要	夕方から翌朝8時まで重症患者の受入れを行う輪番病院（補助対象病院は8病院。診療科目は内科及び小児科。）の運営・調整に係る費用の一部を助成				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市病院群輪番制病院運営・調整事業補助

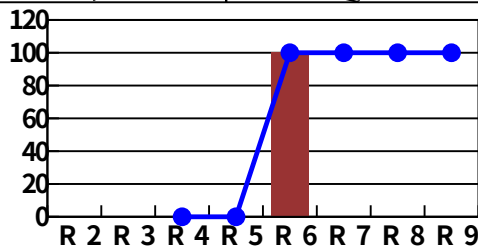
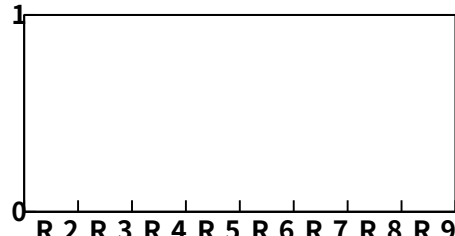
【事業の目的】

対象（何を）	夜間の入院治療が必要な重症患者
意図（どのような状態にしたいか）	夜間において適切な入院治療を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	補助対象病院の稼働日数	日	0	0	305	305	305
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	夜間における輪番病院の開設稼働率		%	目標値	0	0	100	100	100	
				実績値	0	0	100			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	夜間において、輪番病院が確保されたことから、当初の計画どおり目標を達成することができた。		(目標達成度) 100.0%							
(得点) 35点										
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	65,907	65,275	65,208	67,446	
	(事業費)	[千円]	64,410	63,770	63,664	65,902
	(職員人件費)	[千円]	1,497	1,505	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	夕方から翌朝8時まで重症患者の受入れを行う輪番病院（補助対象病院は8病院。診療科目は内科及び小児科。）の運営・調整に係る費用の一部を助成	輪番運営事業補助金 62,764千円 調整事業補助金 900千円	総額	63,664	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	4,155
一般財源	59,509				
令和 7 年度	夕方から翌朝8時まで重症患者の受入れを行う輪番病院（補助対象病院は8病院。診療科目は内科及び小児科。）の運営・調整に係る費用の一部を助成	輪番運営事業補助金 65,002千円 調整事業補助金 900千円	総額	65,902	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	4,303
一般財源	61,599				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
夜間における重症患者の受入体制の確保のための病院群輪番制病院の運営・調整事業に対して助成を行った。 また、救急医療の適正利用やかかりつけ医の推奨、子供の救急医療についての周知・啓発を行った。 引き続き、輪番病院の負担軽減が図られるよう、周知・啓発に努める必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
夜間における二次救急医療体制の確保を図るため、輪番制病院の運営・調整事業の費用の一部助成を継続するとともに、かかりつけ医の推奨や救急医療の適正利用につなげるため、更なる周知・啓発に努める。						

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策		心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	保健医療政策課
	施策		医療体制の充実		電話番号	087-839-2860
	取組方針		市立病院の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		寄附講座開設事業			

【事業全体概要】

事業概要	大学に寄附講座を設置し、高松市立病院において、フィールドワークとして専門性の高い消化器内科・総合内科、循環器内科及び呼吸器・血液・代謝内科診療を行いつつ、医学生及び専門的診療能力を有する医師等の人材育成を行い、高松地域における医療レベルの向上を図る。また、大学においては、各種疾患の病態解明・治療に関わる研究開発を推進する。				
年度概要	消化器内科・総合内科、循環器内科及び呼吸器・血液・代謝内科診療の実施、医学生・研修医及び専門的診療能力を有する医師の人材育成、消化器病・循環器病・呼吸器病疾患の病態解明・治療に関わる研究開発を推進する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	医療を必要とする人
意図（どのような状態にしたいか）	地域医療を実践する専門医を育成・確保するとともに、保健・福祉等の関係機関と連携した地域医療提供体制の確立に寄与する。

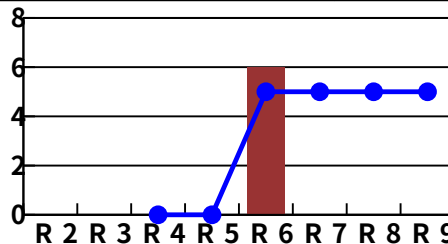
【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	大学からの派遣医師数	人	0	0	6	6	6
②							

【事業の成果】

成果指標①

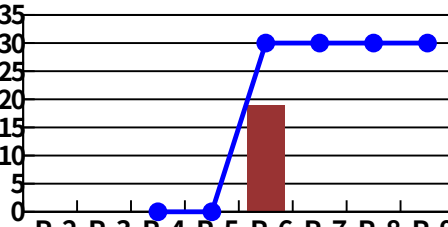
成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
地域医療に関する講演会開催数	回	目標値	0	0	5	5	5
		実績値	0	0	6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
講演会開催数は目標を達成することが出来た。			(目標達成度)	120.0%			
			(得点)	35点			



Year	Value
R2	0
R3	0
R4	0
R5	0
R6	5
R7	5
R8	5
R9	5

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
大学からの医学生受入数	人	目標値	0	0	30	30	30
		実績値	0	0	19		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
大学からの医学生受入数は目標を達成することが出来なかった。			(目標達成度)	63.3%			
			(得点)	22点			



Year	Value
R2	0
R3	0
R4	0
R5	0
R6	19
R7	30
R8	30
R9	30

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	71,997	72,005	65,844	72,044
(事業費)	[千円]	70,500	70,500	64,300	70,500
(職員人件費)	[千円]	1,497	1,505	1,544	1,544

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	消化器内科・総合内科、循環器内科及び呼吸器・血液・代謝内科診療の実施、医学生・研修医及び専門的診療能力を有する医師の人材育成、消化器病・循環器病・呼吸器病疾患の病態解明・治療に関わる研究開発を推進する。	【地域消化器・総合内科学分野】23,500千円 【地域循環器内科学分野】17,300千円 【地域呼吸器・血液・代謝内科学分野】23,500千円	総額	64,300	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	64,300				
令和 7 年度	消化器内科・総合内科、循環器内科及び呼吸器・血液・代謝内科診療の実施、医学生・研修医及び専門的診療能力を有する医師の人材育成、消化器病・循環器病・呼吸器病疾患の病態解明・治療に関わる研究開発を推進する。	【地域消化器・総合内科学分野】23,500千円 【地域循環器内科学分野】23,500千円 【地域呼吸器・血液・代謝内科学分野】23,500千円	総額	70,500	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	70,500				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	83 / 100 (83%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
大学に寄附講座を開設したことで、高松市立みんなの病院において、高松地域における医療提供体制の維持や医療レベルの向上のため、専門性の高い診療や医学生等の人材育成を実施した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）
高松地域の医療提供体制の確立に向け、引き続き寄附講座を開設する。